

インタビュー Intervie

Daisuke Funanaka

船中大輔印料





―今日は、美容材料卸業と美容室の経営者として活躍する一方で、仲人としても活躍 されているという、とてもユニークな二足のわらじを履いていらっしゃる普通科8期生の 船中大輔さんにお話を伺い、特にわからないことの多いお見合い業界のことについて 真相に迫れたらと思いますので、よろしくお願いします。

まずは本業である美容関係のお仕事について、卒業から今に至るまでをお話いただ けますか?

1993年に泉ヶ丘校を卒業後、神戸学院大学法学部に進みました。 1998年に卒業後、ワーキングホリデーでオーストラリアで一年過ごしました。 美容材料卸の会社は元々父が始めたものなんですが、当時は継ぐつもりは なかったんですよ。日本で自営業をされている方ってなんだかあくせく余裕 がないようなイメージがありましたので。

それが、現地で自営業されている方を見ていると、みなさんのんびりとそ れぞれの仕事を楽しんでらっしゃるんですね。そういうのを目の当たりにす るうちに、「自分で商売するのも楽しそうだな」と感じるようになったんです。 それなら実家も商売しているのだし、一緒にやるのが近道かな、と思いまして、 予定していた就職もキャンセルして実家の会社に入ったんです。

―なるほど。

5年ほど父と共に仕事したのですが、2004年に父が亡くなったんです。 この年には私自身の結婚や新店舗のオープンもあったんですが、そんな 時期と重なったのは、ちょうと転換点だったのかな、とも思いますね。

―そのタイミングで会社を引き継ぐことになったんですね。

はい。そこから2007年に住之江に [Beans] という美容室を、2010年 に「船中商会」から「Pillars」へと屋号を変更しました。これは同業の個 人事業主が集まって立ち上げた会社に参加することによるものです。そして、 2014年に長居に「SOSUI」というカットとカラーの専門店をオープンして 現在に至ります。

―この「SOSUI」というお店は、あえてパーマや縮毛矯正を行っていないそうですが、 なにか理由はあるのですか?

美容師さんって、全てのメニューをこなそうとすると、勉強しなければな らない量がとんでもなく多くなるんですね。ところがお客さんは全て知って

いると思っていらっしゃる。そこであえて、全てを平均的に知っているより、 利用者の7~8割を占めるカットとカラーに特化することで、その分野に強 い美容師さんを育て、将来的にその美容師さんが独立するような時にもそ の技術が売りになるように持っていけるのが我々の責務ではないか、との 思いからですね。ただ昔からのお客様には隠しメニューとしてパーマもし

―お店のことだけではなく、そこで働くスタッフの将来まで見据えて運営されているの ですね。さて、この辺りで、もう一足のわらじである仲人業のこともお聞きしたいのですが、 そもそもこの活動を始めるきっかけはなんだったのでしょう?

大きなきっかけは二つあるんです。ひとつは仕事で美容室に営業に行く のですが、その中にお母さんと娘さんでされているお店があったんですね。 その娘さんになかなかいい出会いがないと相談されていたんです。昔は 保険屋さんや車屋さんがちょくちょく縁談を持ってくることがあったのです が、今はそれもめっきり減ってしまい、長年、誰かいい人いない?と聞か れていたんです。

もう一つは、去年、同窓会がありまして、その際、欠席した同級生に 理由を聞くと「独身なので恥ずかしいから」だと言うんですね。

この二つの出来事以来、なにか未婚の方達のお手伝いをすることがで きないかと考えていた時に、所属することになる日本仲人協会の案内をた またま見つけ、講習を受けてみようと思ったのがきっかけですね。

―仲人になるためには、なにか資格なども必要なのですか?

例えば、個人情報を扱うので秘密を守るのは当然ですし、訪問販売 法なども関わってきますので、関連法規の勉強などでしょうか。悪質な業 者も実際にいますので、法令遵守には気を使っています。そうした研修を 経て、テストに合格すると、仲人として登録ができ、紹介ができるようにな ります。

―人と関わる以上、コミュニケーションの適性なんかもありそうですね。

そうですね。世話好き、もっと言えばおせっかいな人の方が向いていま すね。(笑)

200





大阪市住之江区中加賀屋 4-1-20 Hair Make BeanS



大阪市住吉区長居 3-6-17 ハウスパーク長居 1F 06-6697-6228 http://www.sosui.jp/index

―所属する協会もいくつか比較検討されたのですか?

はい。会員さんの立場で考えると、初期投資の少ないところにしたかっ たんです。成功報酬はもちろんありますが、入会金や月会費の負担はな るべく低く抑えたかったので。

また、ある程度報酬の額などを仲人の裁量で決めさせてもらえるので、 自分の娘さんのためだけに活動されている仲人さんもいれば、完全にビジ ネスとして手がけている方もいらっしゃいますね。

―へえ~! 個人的な理由で活動するのもありなんですね。

極端に言えば、私が独身で、自分自身の相手を探すためだけに仲人 になることも可能ですよ。実際、そういう方もいますね。

―そうか、受け身ではなく、いっそこちらから自分の合う人を積極的に探すというのも 考え方ですね。今日も午前中に一件お見合いをされてきたとお聞きしましたが、どんな 感じなのですか?

私の会員さんが、別の仲人の会員さんとお見合いをしたいということで、 私から先方の仲人さんにまずお見合いの申し込みをするんですね。そこ でOKをいただいたら、そこから日時と場所を決めます。今回は梅田でし たのでそこで待ち合わせをして、引き合わせてからは、あとはお二人に任 せて、今日の私の任務は終了です。

―会わせたらその後はノータッチなんですか?

その人によりますね。お二人で大丈夫そうならそのままにしますし、ちょっ と心配な時はフォローで横につくこともあります。本人に代わって、人とな りや趣味を紹介したりしますね。

―その後について、もう少し具体的な内容をお聞きしてもいいですか?

基本的に初めてお会いする時の持ち時間は1時間なんです。その時の 盛り上がりで時間が延びることはありますが、その後通常の交際のように 次回、また次回…とお会いするのはお勧めしていません。本人同士でお 互いの連絡先を交換するのもNGです。交際を希望する場合は、仲人を 介して先方の仲人に打診し、OKが出たら交際成立となります。その時点 で初めて釣書という、細かいプロフィールを書いた書類を交換するんです。 そこまでは仮名でやり取りするなど、極力個人情報を出すことはありません。 そして本格的に交際が始まっても仲人とは連絡は取り合います。そしてプ ロポーズするまでが我々仲人の仕事となります。

―ふむふむ。結婚相手を探すという意味では婚活のいちジャンルになるんでしょうが、 最初からある程度お互いのプロフィールなどがわかったうえで二人で会えるというのは 大きいですね。

そうなんです。ですから展開も早いですね。あと、お見合いとは自分の 条件に合う人を引き合わせてくれると誤解されるのですが、そうではなく、 この先5年、10年かけて訪れる出会いを半年に凝縮しているようなもの なんです。普通に生活していて出会ったとしても、相手が独身なのか? 結婚 の意志があるのか? 自分を恋愛対象として見てくれるのか? などいろい ろ相手との距離を測っていく時間って長くなりますよね? その点、お見合 いでは最初から結婚したいという意志を持って臨まれるので、あとは自分 と合うかどうかの判断をすればいいので、無駄な時間は少ないと思います。

一確かにそうですね。出会いがないことを嘆くより、まずは一歩を踏み出すことが大事 なんでしょうね。

おっしゃる通りです。皆さん面談では、それぞれコンプレックスに感じて いる部分を相手がいない理由にされるんですが、それは結婚できる・で きないとは全く関係ないんですね。むしろそのコンプレックスを気にするあ まり、婚活をためらっているのが一番の問題だと思うんです。お話する方 それぞれにいい所はありますので、そこを伸ばせばきっといい人は見つか るはずです。ですから、まずは本人のやる気、相談してみる決断力、行動力、 あとはマメに連絡が取れることが大切だと思いますね。

―今日は普段なかなか知ることができない業界のお話が聞けてとても勉強になりました。 今後の目標などがあれば教えて下さい。

美容室も仲人の仕事も、せっかく始めたのだから3年はがんばって、 その時にどんな形になっているのかは楽しみにしています。

仲人に関しては、泉ヶ丘の同窓生限定の婚活パーティーができればな あと思っています。

―それはとても興味があります。是非実現させたいですね!本日はありがとうございました!

結婚もスタッフ育成も 全力で来るなら全力で応えたい

大阪狭山市大野台 2-28-1 072-367-7350



100

『人生の転機』



本田 康文 (普通科4期生) 矯正歯科医

同窓会の皆様、ご無沙汰しております がお元気にされていますでしょうか?

卒業してから早いもので26年という月日が経ちました。現在の私は 地元の大阪府貝塚市で矯正歯科を開院し8年目を迎えます。しかし、 最初から歯科に進むつもりではありませんでした。

高校在学中、私は家業のレンズ会社を継ぐべく工学部を目指してお りました。ところが、当時、関西空港建設に伴い会社の土地の一部が 外環状線にかかること、貿易相手である香港がイギリスから中国へ 返還されること、加えて"使い捨てカメラ"が急速に普及してきたことな どから情勢が大きく変化し、結果会社は閉めることとなりました。

それがちょうど浪人していた時期で、進路は急遽歯学部へ方向転換、 人生が大きく変わる瞬間でした。

戸惑いながら朝日大学歯学部に入学しましたが、すべてが新鮮で 興味深く、勉強することが楽しく思えました。在学中には幸運にもUCLA 歯学部に短期研修に行かせて頂き、様々な国の学生や先生と交流する こともできました。

卒後は、朝日大学には残らずに環境を変え、広島大学歯学部歯科 矯正学講座に入局しました。広島大学では大学院生、医員、助手として 11年間、臨床、研究、教育をさせて頂き、現在に至ります。

どうして歯並びや噛み合わせが悪くなるのか?様々な癖が原因で生 じる場合が少なくないです。最近、正しい舌の位置、正しい呼吸、正し い嚥下ができていない子供がいかに多いかに驚かされます。舌の位 置は下の方にありませんか? 口をポカンと開けていませんか? 飲み込 むときに口を緊張させたり舌を出したりしていませんか? 舌は上 あごに、口は閉じて、鼻呼吸することが大切です。そして、舌を上あご に押しつけながら奥歯で噛んで、口を緊張させずに飲み込むことが

私は、人間が本来持っている正しい機能を身につけられるように 指導し、結果として咬合予防につなげていくことで微力ながら社会 貢献できるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

進路が変われども高校を卒業してからも途切れることなく続いて いる仲間、そして他府県から約20年ぶりに大阪に戻って不安だった

ときに声をかけて下さった同業の先生、 それは皆、帝塚山学院泉ヶ丘校の卒業生 でした! 繋がりを感じずにはいられません。

最後になりますが、同窓会の皆様の ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



『私が伝える意味』



(国際科19期生) 報道記者

泉ヶ丘校の国際科を卒業して10年が経ちました。私はいま、読売テ レビの報道局で報道記者をしています。目指すきっかけになったのは 大学時代に女性の新聞記者からJR福知山線脱線衝突事故の話を聞 いたことでした。世の中に情報やメッセージを発信するだけでなく、 "遺族や負傷者の生きる力になる"。

そして2009年に読売テレビに入社。365日24時間体制で携帯が手放 せない7年を過ごしています。これまで京都支局、大阪府警を担当し、現 在は経済担当をしています。入社して5年、JRの事故を担当しました。そ の時愕然としたのが、当時の現場を知らないため、ご遺族や負傷者と 共有するものが何もないことでした。過去のニュースをどれだけ見て 勉強をしても本当に受け入れてもらえるのか…とても不安な気持ちで 取材したのを覚えています。今年もJRの事故から10年を取材すること になりました。ある負傷者の方と話した時、「そんなに気を遣わなくてい いよ、宇田さんが伝えたいことを聞いて、伝えてください。それに可能な 範囲で応えるから」。その言葉に背中を押され取材したのは、私のよう に事故当時を知らない女性とその負傷者の方が一緒に事故の展覧会 を開くものでした。展覧会で負傷者の方が描いた当時の事故現場の絵 を初めて公開。10年経ってようやくわかる真実がある。私自身も衝撃を 受けました。だからこそ、私が伝える意味があると感じました。OA後、 負傷者の方からこんな言葉をいただきました。

一「これまで僕がお受けしたテレビ報道の中でも、自信を持って人に 「見て!」と言える数少ない番組のひとつだと感じました」―

毎日いろんな出会いがあります。その出会いを大切にしてどんな時 も人の思いに寄り添える記者であり続けたいなと思います。



『人とのつながり』



野田 龍介 (普通科22期生)

日高軽種 医農協 對 医師

僕は現在、サラブレットの生産地である北海道日高で馬専門の獣 医師をしています。日本のサラブレットは2~6月が繁殖シーズンに あたり、生産地の牧場と馬獣医師は一年で最も忙しい時期を迎えま す。それは日頃から行っている病馬の診断・治療に加えて、交配前後 の生殖器の検査(写真)や難産での呼び出しが多くなり、この時期は ほとんど休みがありません。僕は獣医師として2年目でまだまだ修行 の身ですが、獣医師は専門知識・技術を用いて診断・治療し、畜主が 納得できるようわかりやすく説明するのが仕事ではないかと自分なり に考えています。忙しい日は勉強する時間も足りず寝不足になりがち ですが、「なんとかして治したい」「元気な子馬を産ませたい」という馬 への想いや、畜主さんからの「馬が元気になったよ」「先生のおかげで いい子馬が産まれたよ」という言葉をもらうたびに頑張ろうという気 持がわいてきます。

もちろん仕事ばかりではなく、休日は地域のバスケットボールの練 習に参加して気分転換しています。バスケットは中学・高校では部活 動、大学では同好会を通して顧問の先生、先輩、同期、後輩など多くの 人とのつながりをもてました。竹花獣医師(写真・本校卒業生で現在 大阪の動物病院勤務) は高校・大学と9年間同じチームでプレーし、い までも仲の良い同期の一人です。いま僕が獣医師という職につけて いるのも友人をふくめ多くの人との「つながり」があったおかげです。 本校がこれからもたくさんの「つながり」をつくりながら楽しくたくま しく生徒が成長していける学校であるよう祈っています。本州はまだ 残暑厳しいでしょうが皆様お身体に気をつけてお過ごしください。



『産業保健師をめざして』



満石 恵 生長会 ベルランド総合病院 保健師 (循環器内科・心臓血管外科病棟勤務)

この度はSeiun寄稿のご依頼をいただき、非常に光栄に感じて います。

もともと私は医師を目指し医学科受験をしましたが、力及ばず、1年 間浪人生活を送りました。その最中、多方面での活躍の場を広げる 看護師を目指してみないかと予備校で勧められ、大阪大学医学部保健 学科看護学専攻に進学しました。憧れの医師の道を諦め進学した為、 入学当初は半ば投げやりに授業を受けていましたが、看護実習が始 まり、患者と接してみると同じ疾患でも入院するまでの経緯が様々で あることを実感しました。

実習前まで「入院患者=高齢者」であると個人的に思い込んでいま したが、実際は働き盛りの壮年期の患者も多く、生活習慣病が重篤化 して入院するケースが多いことを知りました。それを機に疾病の予防に 興味をもち、次第に保健師、中でも壮年期が多い企業を中心に活躍 する産業保健師に憧れを抱くようになりました。

生活習慣病の予防には対象者の行動変容が必要であり、保健指導 がそのカギを握ります。知識と根拠は座学でも身につけられますが、 対象者が納得のいく保健指導を行う為には生活習慣病の実態を学ぶ 必要があると考えました。このような経緯で、現在私は急性期病院で 保健師として勤務しています。業務的には病棟看護師と大差ないです が、保健師としての自覚をもちながら、業務の中で患者に保健指導を 行い、患者の仕事復帰における環境調整やペース配分などを主治医に 相談しながら患者と共に考えるよう心掛けています。また業務が多忙 であっても、リアルタイムな訴えを逃さないよう患者とじっくり話をする 時間を設けるようにしています。時には雑談も含まれてはいますが (笑)。

憧れの産業保健 師への転職も将来 的に考えてはいま すが、もう暫くの間 は生活習慣病の実 態を病棟から学ん でいきたいと思っ ています。



Seiun Vol.22 | 04 Seiun Vol.22 | 05

恩師から



永田 博史 先生(数学)

卒業生の皆さん、元気で御活躍のことと 思います。私は、昭和59年(1984年)に泉ヶ 丘校に勤めてから、はや31年が経過し、 32年目を迎えているところです。青雲を通し て卒業生の皆さんの御活躍を目にして嬉しく 思っています。つい最近のことですが、日曜

message

日に近くのコーナンで、子供さん2人を連れて買い物に来た卒業生と出会いました。 良き御父さんをしているなぁと感心しました

昨年の9月まで、最寄りの駅へ、会社帰りの娘を迎えに行くことがあり、たまに帰宅途中の何人かの卒業生に会うことがありました。声をかけたりして、懐かしく思っていました。大学からの帰りに、ときたま会ったりした卒業生は、今年度から泉ヶ丘校に勤務することになり、毎日顔を合わせています。現在、卒業生の方が泉ヶ丘に多数戻って来てくれ、毎日、後輩のために頑張っている姿を目にしていることは嬉しい限りです。

さて、私の方は、2人の子供も独立し、何 か興味を持とうと以前から考えていました。 少し体重が増えて来たので、1年前からお 昼の食事の量を減らしたところ、体重が4kg 減少し、ウエストも4cm減少し、20年前のズ ボンがはけるようになりました。この前の検診でLDLコレステロールの数値が基準値内まで減少しました。一方で筋力の衰えも実感しており、できるだけ身体を動かそうと思っています。

実は、私は今年度で定年を迎えます。まだ 少し泉ヶ丘に残る予定ですが、何か趣味を 持たなければならない状況になっています。 文房具が好きで、あまり使わない万年筆も 何本か持っており、正月に日記を書こうとし ましたが三日坊主でした。ワンダーフォーゲル 部の例会に参加したいと思うのですが、月 曜日の授業に差し支えるので参加していま せん。相変わらず数学の問題を解くのが趣 味のような毎日を送っています。次に皆さん に会ったとき「趣味を見付けたよ」と言える ようにしたいです。



5月30日、泉ヶ丘校の管弦楽部が京都フィルハーモニー室内合奏団と共演しました。その演奏を聞きながら、私は2001年急逝された佐々木先生のことを思い出していました。

「楽器の練習の音が聞こえてこない学校って何かもの足りない。泉ヶ丘にも管弦学部ができればいいですね。」彼はいつもそう言っていました。その願いがいま現実になり

ました。私は感慨を禁じえませんでした。30年を経て、泉ヶ丘は多様なクラブ活動も行われるふくらみのある「進学校」に成長していました。

実際、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。市民の目線で映画を撮り続けているW君、テレビのレギュラーとして法律相談にのる弁護士のI君、JRの駅長も勤めたN君、家業の花屋を引き継ぎ発展させているS君、国際科出身ながら看護師の資格をもち養護教諭として頑張っているKさん、次々と卒業生の顔が浮かんできます。もちろん私の知らない所でも多くの卒業生がしっかりと社会を支えていることと思います。

手塚治虫の「六等星」という作品をご存知でしょうか。トップクラスの実力を持ちながら、出世欲とは無縁なため周囲から軽視されている医師の話です。6等星とは肉眼でようやく見える程度の明るさの星のことです。でも、地球からは暗く見えても、近くに寄るとこの星は1等星と同じ輝きをもっているので

す。人間も同じ、大切なことは本物の実力を もっていることです。学院のいう「力の人」は このことでしょう。

私は、そのような生徒の成長の「触媒」になることが教員の使命だと思って泉ヶ丘で働いてきました。(そうは見えなかったけどなあ、という声が聞こえてきそうですが)今年3月に退職、現在は「再雇用教員」という身分ですが、幸いあと1、2年は続けてもよいと聞いています。若く可能性豊かな生徒たちと一緒にもうしばらく頑張れるのがとても嬉しいと感じています。

いま、泉ヶ丘校は、「新しい世紀」に入りつつあると思います。若手教員が主体の学校運営が始まっています。若い力で時代にふさわしい教育を斬新なアイデアで切り開いていってほしいと願っています。同窓生のみなさんには是非彼らの努力を支え、見守ってほしいと思います。泉ヶ丘校が「こころのふるさと」としていつまでも続いていくことを願いながら。

f State f





Seiun Vol.22 | 06 Seiun Vol.22 | 07

同窓会室ょり

同窓会報告

26期生 3年コース同窓会

藤原 健人(26期生

平成27年1月4日(日)に『四ツ橋バールAny』にて2011年卒26期生高等学校3年コースの同窓会を開催させていただきました。恩師4人を加え約40人もの同窓生に集まっていただきました。正月明けという忙しい時期に皆様にお集まりいただき幹事一同大変嬉しく思います。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

私達の学年は今年の4月から働き始める学年でした。そのため、この時期に 同窓会を開催させていただきました。それぞれが新しい地へ飛び立つので この様に大人数が集まることが難しくなるかと思うと寂しくも思いましたが、 恩師、同窓生の期待に溢れた姿を見る事ができ非常に刺激を頂きました。

また同窓会ではクロスカントリーのコースや高校などの思い出の地を巡る

ムービーを作成し、その中でクイズを出題するなどといった 催し物などで大変盛り上がり、楽しい同窓会となりました。 今後とも帝塚山学院泉ヶ丘高等学校の恩師、同窓生、



帝蹴会東京の活動について

三浦 孝司(普通科2期生)

私たちは帝塚山学院泉ヶ丘高等学校サッカー部のOB・OGのうち、東京近郊に住んでいるメンバーによって運営している組織です。

発足は2013年7月27日、グランドプリンスホテル高輪において第1回総会を開催し、 今年で3年目になります。

発足時には会則を設け、会則に従い役員の選出し、総会時には会計報告等も行って おります。主な活動は、毎年夏に開催される堺ユースサッカーフェスティバルへの賛助 活動です。

毎年総会開催時に年会費を徴収し、広告掲載費として支出しております。本大会は今年で6回目となりますが、年々規模が拡大していることを支える立場としてもとても嬉しく感じますし、大会の開催が総会開催のトリガーとなっており実はとても感謝しております。

また、総会には必ず登校長先生にご出席いただいていることも、会の結束力を強める 大きな後ろ盾となっております。そして、何より会を支えているメンバーの一人ひとりの 存在がなければ、とても運営できるものではありません。

総会には例年20名を超えるのメンバーが終結します。そして、年代を超えて学生時代のことや仕事のこと、家族のことを時間を忘れて語り合っております。

帝蹴会東京の特徴として、転勤族の構成比が高いため、毎年メンバーの入れ替えが頻繁に発生し、その把握に一定苦労しますが、その一方、地元大阪を離れて働く者同士、妙な連帯感があるように感じます。

本日は、大阪から遠く離れた東京でこうして元気に頑張っている事実を皆様にお伝えすると同時に、将来東京に転勤されるサッカー部OB・OGの方がいらっしゃいましたらぜひとも連絡いただきたいと思います。





帝塚山学院 東京同窓会 REPORT レポート 2015 6/27(土) 奥村幸恵 (国際科2期生)

東京同窓会報告

6月27日(土)に青山ダイヤモンドホールにて、2015年度帝塚山学院東京同窓会総会が開催されました。毎年恒例の同窓会総会。今回は普通科1期生の松本副会長とともに出席させていただきました。泉ヶ丘校の川田先生、住吉校の西本先生も大阪からご出席され、たくさんの教え子の方たちに囲まれてとても楽しそうでした。

また、たくさんの先輩方にもお会いできました。ミュージカル女優 (元劇団四季) の 久野綾希子さんは優しくてとてもお綺麗でした。徳島県知事の飯泉嘉門さんの楽しい で挨拶、テノール歌手の加藤ヒロユキさんの素敵な歌声。いろいろな業界で活躍 されている先輩方からたくさんの刺激をいただきました。

学年や年代は違っても、同じ学校という共通項でこうしてたくさんの交流ができ、 楽しい時間が過ごせるというのは、帝塚山学院のよいところだと感じました。

関東在住の皆さん、ぜひ来年はこの東京同窓会総会に一緒に参加しましょう。



米中は7月10日(日)に開催いたしまり。

[お問い合わせ] 泉ヶ丘同窓会事務局 TEL 072-293-8680

住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院 泉ヶ丘同窓会事務局までご連絡ください。また、ホームページ の住所変更届けボタンをクリックし、フォームに入力する だけで簡単に手続きができます。よろしくお願いいたします。 ホームページアドレス

www.tezuka-izumi.jp/

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局 TEL&FAX.072-293-8680

E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

帯5回帝塚山学院泉ヶ丘OB(青雲会) ゴルフコンペを開催しました!

青雲会 第5回幹事 藤原一臣(普通科5期生)・池田謙吾(普通科6期生)







○ハーフコンペ形式の為、後半は36で集計しています

猛暑や豪雨といった異常気象に悩まされる、今年の夏。そんな夏の終わりの恒例行事、雨の暗雲会……。いや『青雲会ゴルフコンペ』が母校に近い泉ヶ丘カントリークラブにて、10組37名が参加のもと開催されました。

天気予報では曇り時々雨でしたが、スタート前から雨がパラつくあいにくの空模様…さすが青雲会! そんな中、意気揚々とスタートする精鋭たち!さすが帝塚山泉ヶ丘OB!!

昨年に続き雨の中のゴルフかと思いきや、前半は降ったり止んだりの 小康状態をキープ。しかし、そんなお天気が一変したのは、後半の茶店 あたりでした。傘をさしても意味のないほどの風と雨、そして雷が鳴り響 き、一瞬にしてグリーンには大きな水たまりが出現……。

出場メンバーはプレーもそこそこに茶店に避難することに。他の利用 者がいない茶店は、さながら同窓会場のようでした。

一向に止みそうにない雨と雷に、OBたちが困っていたところ、谷先生のツルの一声で後半ラウンドの中止が決定されました!

それでも後半を回ってきた猛者たちも何名か出現しましたが…

表彰式では事前に準備されていた賞品以外に「すだち」や「うどん」を で寄付いただき、和気藹々と楽しい発表となりました。(松本さん、ありが とうございました)

今大会は後半途中での中止の為、前半のスコアだけで集計するハーフ コンペ形式となりました。

そんななか優勝されたのは、2年連続優勝のディフェンディングチャンピオン犬伏さん (10期) を抑え、岩崎さん (3期) が優勝の栄冠をつかみ取られました。おめでとうございます!

ベスグロは37で3位入賞の上田さん(3期)。3期生の強さが光る第5回 青雲会となりました。

最後になりましたが、コンペ会費の残金(7,620円)は、前回繰越金(43,830円)とあわせ、次回のコンペへ持ち越しとさせていただきます。 次回開催につきましては、下記へお気軽にお問い合せください。

泉ヶ丘同窓会

TEL&FAX 072-293-8680 メールアドレス t.izumi@aurora.ocn.ne.jp







副会長 松本 隆司(普通科1期生)

平成27年5月9日(土)午後3時より、泉ヶ丘校の文化ホールにて幹事総会を開催いたしました。1期生から昨年度の卒業生である30期生まで総勢37名の幹事が出席しました。また、谷副校長・井元教頭にご出席・ごあいさつをいただきました。

幹事総会では、決算・会計監査報告、事業計画及び予算を ご承認いただき、各委員会の昨年度の活動・今年度の活動予 定が報告されました。

幹事総会後の懇親会は、新任幹事である30期生の歓迎会 を兼ねて「はや 魚太郎 泉北の郷」にて行いました。1期生から 30期生までの幅広い年代で交流を行うことができました。

同窓会活動に参加したいという方がいらっしゃいましたら、 ぜひ同窓会事務局にご連絡ください。お待ちしております。



Seiun Vol.22 | 08

総会報告

第8回

10/19 o

会場:スイスホテル南海大阪 8F浪華

第8回 帝塚山学院泉ヶ丘校同窓会総会

第8回総会委員長 山本 淳史(普通科4期生)

平成26年10月19日(日)、スイスホテル南海大阪にて、第8回同窓会総会が開催されました。当日はご来 賓・恩師の先生方25名を含む総勢194名の参加者を迎え大盛会となりました。

今回の総会は二部制の形式をとり、一部は総会と懇親会、二部は大抽選会としました。懐かしいオープニング映像で始まり、細川会長、児玉学院長(当時)、脇田校長先生(当時)にご挨拶を頂いた後、総会議事に移り、議事では主に新役員のご承認と一部会則の変更をご報告しました。議事終了後は、登副校長先生(当時)の発声で乾杯を行い、懇親会が始まりました。懇親会が始まると皆さん思い出に話に華が咲き、会場は笑顔であふれていました。

懇親会終了後は少しの休憩をとって、お待ちかねの豪華景品が当たる大抽選会。名司会の岸本君(普通科 6期)の進行により大いに盛り上がりました。

景品をご提供頂いた同窓生の皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます、ありがとうございました。 最後は抽選会の盛り上りの余韻を残したまま、全員で泉ヶ丘讃歌を斉唱して終わりました。

ご臨席頂いたご来賓・恩師の先生方、またご参加頂いた同窓生の皆さんにお礼を申し上げ、また全体の司会進行を務めて頂いた宇田さん(国際科19期)と、今回の準備運営に携わって頂いた幹事期である普通科4期・国際科3期と普通科6期・国際科5期の幹事の皆様に心からお礼を申し上げて、総会委員会からの報告といたします。













Seiun Vol.22 | 10

学動自 ベか分 ななか いいら



同窓生

泉ヶ丘校の卒業生で現在、気軽に訪ねられるお仕事を されている方を誌面でご紹介することで、職業を通じて 先輩・後輩の枠も超えた交流ができればいいなと 思い、取材しています。

取材:岸本威也(普通科6期生)、大嶋菜穂子(国際科3期生)、島田裕典(普通科13期生)



めガ域 たネの い文 化 な





今回訪れたのは、普通科3期生の松井利行

さんが営む堺のあなご専門店、松井泉です。今

や数少なくなった、伝承のあなご加工技術を

松井さんの祖父の時代から始まったあなご

加工業を、お父様が昭和43年に「松井泉商

店」として独立、主に料理店などに卸していま

松井さん自身は泉ヶ丘校卒業後は早稲田大

学教育学部へ進学されますが、一回生の時に

お父様が倒れるという出来事があり、このこと

をきっかけに将来のことを考えるようになりま

す。家業を継ぐことを意識し、四回生のゼミで

は生態学について学ばれました。とはいえ、北

海道でのフィールドワークでは先輩の研究の

大学時代に、「自分から動かないと学べな

卒業後、明石のあなご屋で修業されます。早

朝2時から夕方5時まで働き、仕事の後であ

なごを開く練習をするという生活を一年続け、

いよいよ入社、現場、仕入れにとどまらず、業界

い。」ということを強く感じ、この時の経験が今

に大きな影響を与えたとおっしゃいます。

手伝いで自然に触れて楽しかったそうです。

持つお店です。

した。

の会合やクレーム対応など、あらゆる仕事をこ なされました。

その頃、同業者が次々減っていく現状に危 機感を持ち、卸だけではない、販売の柱を複 数確立したいと思うようになりました。

そして、産地にとらわれない、『松井泉のあ なごなら間違いない』と思ってもらうべく、自社 のあなごをブランド化したいとの思いで百貨 店やスーパーでの小売に挑戦、積極的に試食 や売りこみを行った結果、現在では大丸や阪 急をはじめ、多くの店舗で販売されています。

さらに地元堺の料理店やホテルと共同であ なごを用いた新メニューを開発したり、行政も 巻きこんで堺あなごマップを作成したりとここ でも自分が動くことで周りも動かし、大学時代 に見につけたことを存分に発揮されています。

そんな松井さんの泉北髙島屋のお店では、 持ち帰りの他に店内で食事を楽しむこともでき ます。あなご重、あなごの押寿司、握り寿司、八 幡巻と今回の取材で出していただいたのはま さにあなごづくし! どのメニューも絶品でした。

お話を伺う中で、このコーナーで紹介したお 店の記事(普通科3期生の子田貴之さんの SANGEN)をご覧になって実際に食事に行き、 それがきっかけで数十年振りに交流が再開し たという、筆者にとっては嬉しい限りのエピ ソードも飛び出し、とても実のある取材になり ました。

堺の食文化としてあなごを広めようと日々 活動されている松井さん。最近ではクラウド ファンディング(インターネットを介して不特定 多数の個人から資金を調達すること)を利用 してネットでの通信販売も始めるなどますます パワーアップ! その心意気がつまったおいし いあなごを、是非みなさんも味わってみてくだ









もう一軒お邪魔したのは、普通科13期生の 佐藤元昭さんが代表を務める㈱メガネの金剛 です。昭和46年にお父様が創業されたメガネ 店を引き継ぎ、ご自身提案する新しいスタイ ルの店、「MOCA」と合わせて現在6店舗を 経営されています。

佐藤さんは泉ヶ丘校から神戸商船大学へ進 学されますが、その経緯が面白いんです。

佐藤家には、将来食いっぱぐれることのな いように、との理由から、「なにか国家資格を 取れ」という家訓があるそうで、実際に大型船 舶の機関士の資格を取得されました。これで タンカーにも乗れるそうです。(笑)

4回生の時に9ヶ月間という長期に渡って 航海に出られたのですが、乗船していたのは ほとんど何らかの形で船舶関係に就職する予 定の人だったんだとか。

佐藤さん本人はそういうつもりでもなく乗っ ていたのですが、その航海中に、「自分が働く のはここではない」と気づき、経営の道に進む ことを決断されました。

卒業後、メガネの金剛に就職。6年ほど働 き、専務にまで昇格しますが、外の世界を知ら

ずにここまで来たことにコンプレックスもあり ました。

そこで27才で一念発起し、グロービズ経営 大学院でMBAを取得されました。ここに通っ たことで周りからすごい刺激を受け、コンプ レックスも吹っ飛んだそうです。

在学中の2009年2月に、既存の店舗と一 線を画した新しいスタイルのサービスを提案 するMOCA(モカ)の1号店を立上げ、現在 3店を展開しています。

その提案のひとつには、「半医半商」と呼ば れた昔のメガネ店の精神を今に伝えるため、 眼科医のお兄様(青雲19号に寄稿していただ いた普通科3期生の佐藤寿樹さん)とのコラ ボレーションで視力補正とファッション性の両 面からサポートしていきたいというものがあり

スタッフを眼科の検眼室に出向させて眼科 との間で情報や技術の共有を図っています。 そのため、検眼だけでは把握しきれない微妙 なニュアンスを店側でフォローできるのが強

また、低価格店の台頭に危機感を持ちなが

らも、本当にいいと思えるフレームやレンズを 取扱い、お客様の自己表現としてや新しい自 分を発見していただくためのサポートができ るよう、教育プログラムを自ら考案、スタッフの センス向上に努めています。

企業理念に「人に、伝える。『見る』『聞く』の 文化を創る」という言葉を掲げ、「この地域のメ ガネ文化を高めたい」という理想を持って活 躍されている佐藤さん。

メガネに対する気持ち、思いを伝えるため、 小学生を対象にメガネ作り体験会を開くなど 着実に文化の裾野を広げています。

顔の中心に位置し、簡単に大きく印象を変 えることができるメガネ。皆さんも一度、ワクワ クする体験をしに訪れれてみてはいかがで しょう?



堺あなご専門 松井泉

堺市堺区楠町3-1-26 TEL 072-245-1779



http://www.matsuiizumi.co.jp

MOCA 金剛店 営業時間:9:30~19:30/9:30~13:30(木曜のみ) 富田林市寺池台1-20-18 TEL 0721-55-3188



http://www.opt-kongo.co.jp/moca/

Seiun Vol.22 | 12 Seiun Vol.22 | 13

泉ケ丘通信

Club Activity Report 2015

部活動報告

剣道部

顧問 友田 悦生

囲碁·将棋部

顧問 今井 貴之



剣道部は昭和58年(1983)の開校と同時に創部されました。以来、文 武両道をモットーに、技と心の鍛錬に励んでいます。

一般に剣道の目的は、「気」「剣」「体」の一致を目指して心身を鍛練することにあるといえるでしょう。対外試合に参加し勝敗を競うことも、そうした最終的な目的に至るための励みとして位置づけられます。剣道部の公式戦における成果は、必ずしも華々しくはありませんが、公式戦への参加にむけて、歴代の部員たちは心と体の鍛練に努めてきました。

また対外試合以外に、剣道部員にとって大きな目標になるのは、昇段 昇級を果たすことです。その点で、まじめに稽古に励む部員たちのほと んどが有段者になって卒業していくことは誇るべき成果といってよいで しょう。

道場には「戮力同心」と染め抜かれた部旗が掲げられ、部員たちの毎日の稽古を見守っています。あまり耳慣れない四字熟語ですが、「りくりょくどうしん」と読み、「力を合わせ、心を一つにして事に当たる」という意味です。中学生から高校生まで、また男子も女子も、一つの道場で協力し合って稽古に励むという剣道部の伝統は、この部旗のことばにふさわしいものだといえるでしょう。





みなさん、こんにちは。新たに囲碁・将棋部の顧問になりました今井です。私事ですが、今年度から母校・泉ヶ丘校で教鞭を執ることになり、そしてかつて自分自身も生徒として所属していた囲碁・将棋部の顧問にもなることができ、とても嬉しく思っています。久しぶりに部室である作法室に入り、生徒たちの様子を見ていると、今も昔も変わらないなぁと思う部分と、時代の流れかな?と思う部分があります。そこで、囲碁・将棋部の近況をお伝えしたいと思います。

現在、囲碁・将棋部は20名を超える部員が棋力向上をめざして、日々活動しています。中学生と高校生がひとつになって、和気あいあいと言葉を交わしながら対局するのは、囲碁・将棋部の良い伝統です。また、泉ヶ丘祭では部員以外の生徒や卒業生の方々にも参加してもらい、ひとつのコミュニティーを形作っています。

先日、対局している生徒を側で見ていると、上級者が専門用語を飛び 交わせながら指導したり解説したりしていて、確実に技術の継承がなさ れていると思いました。また、私が所属していた当時は、先生方にいろい ろとご迷惑をおかけした記憶もありますが、今の部員たちはしっかりして いて、活動も自主的に行っており、部活動としての成長を感じます。ただ 一方で、少し大人しすぎるかなと思うこともあります。

さて、OBのみなさま、囲碁や 将棋を今も続けています か? 囲碁や将棋は年を 重ねても楽しむことがで きます。何かの折に、お立 ち寄りいただき、後輩た ちを指導してくだされば 幸いです。お待ちしてお ります。







辻 賢太郎 先生 (普通科19期生)

皆さんこんにちは。英語科の辻です。高校生時代はバスケットボール部に所属し、 文武両道とまでは言えないかもしれませんが、楽しく精一杯高校生活を過ごしてきま した。その思い出がいっぱい詰まった学校に戻ってくることができて、本当に嬉しく 思います。

さて、泉ヶ丘校に勤めだして、はや3年目になりますが、私が生徒だった頃と変わらない泉ヶ丘校に日々喜びを感じています。当時と全く変わらない熱心な先生たちの姿。勉強だけでなく、クラブに行事に一生懸命な生徒たちの姿。大好きだったクロスカントリーや体育大会。昨年度の体育大会では、生徒たちと共に陶器山マラソンに参加させていただきました。当時のように走れる体ではなくなってしまいましたが、気持ちだけは高校生に戻ったようでした。そして変わったところといえば、私がいた頃と違って男女が同じ1つのクラスで学んでいることです。初めは当時と違った光景に驚きましたが、さらにクラスに活気が出ているように感じます。毎日を楽しく生活している生徒たちと共に、ますますパワーアップした母校で働くことができ、これほど嬉しい事はありません。

「あこがれは遠く高く。」皆さんの可能性はまだまだ計り知れません。私も卒業をし、 このように教師として帰ってくることができましたが、皆さんと同じように毎日が新し い学びでいっぱいです。ぜひ将来への希望を持って、共に高め合いながら学んでい きましょう。



Seiun Vol.22 14



校長 登 純一郎

卒業生のみなさん、元気でご活躍のことと思い ます。

私も、帝塚山学院泉ヶ丘校でお世話になり、気づく と33年目を迎えることになりました。

昨年まで副校長を5年間務め、この4月から校長とし て新たな気持ちで頑張っています。

私自身改めて思い起こすと、泉ヶ丘校での33年間 で、卒業生をはじめ、いろいろな方との出会いが、 私自身をおおきく成長させてくれたと思います。その 気持ちを忘れることなく、これからも、生徒の指導に 生かしていきたいと思います。

泉ヶ丘校の建学の精神や、これまでの泉ヶ丘校の 歴史を理解した上で、これからの時代を見据え、 時代の変化を読み取り、柔軟に対応していかなけれ ばならないと思っています。

また、急速に進むグローバル化、あと5年から10年 もすれば多国籍化・多文化が一段と進むことになる でしょう。グローバルな人材に必要なことや、何をし なければならないかなど、生徒と共に考えなければ なりません。

これからも、生徒一人ひとりの秘められた可能性 を引き出し、自主自立に向け前向きに取り組む生徒 の育成に努めたいと思います。また、私たち教職員も 生徒との関係を、安心・信頼・尊敬を経て深まって いける学校づくりにも努力していきます。そして、これ からも魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。 卒業生のみなさんもご協力のほど、よろしくお願い いたします。

副校長 谷 啓介

卒業生のみなさん、お元気ですか。今年4月より、副校長を務め させていただいております。25年前の1990年、普通科8期生を担 任しました。その中に、東大、京大にそれぞれ進学したI君とY君が いました。現在、「君はフジテレビに勤務されており、「踊る大捜査 線」の映画の空撮なども担当、活躍されています。Y君は防衛省の 米欧ロシアの研究室に勤務されており、拠点を海外において活躍 されています。その二人が3年前のイギリスのロンドンオリンピック でお互い仕事でロンドンに来ていて、偶然、現地で出会いました。 日本では卒業以来、20年近く、一度も会っていない同級生がロン ドンで久しぶりに「やあ!」という感じで、出会ったと聞きました。 これからの卒業生同士もこういう場面が頻繁に展開されると思い ますし、そのような話を聞くのを楽しみにしています。

2020年度より国公立大学の入試制度が変わります。英語も 読む、書く、聞くに話すも加わった4技能が課せられます。小論文や 面接などで、自分を表現できるグローバル人材の育成に力点が おかれてきます。泉ヶ丘校でもいろいろな対応をしていきますが、 今までに行ってきた授業やクラブ活動、学校行事などは、それに 対応できるものばかりなので、これまでに培ってきたものを活かし、 なお一層、努力改善をして、充実した3年間、6年間を過ごしてもらい たいと思っています。後になって本当に泉ヶ丘校に入ってよかった と実感してもらえる様、生徒、保護者、教員が一丸となってがん ばって行きますので卒業生の皆さんも多方面から、バックアップ よろしくお願いします。

一昨年から東京泉ヶ丘校同窓会が発足しました。大阪でも1年 おきに同窓会総会を秋に開催しています。まだ、はじめのころから の先生方もたくさんいますので、みなさんもそれらのイベントにも 参加していただけたら、嬉しいです。くれぐれも身体に気をつけて、 各方面でのご活躍を期待しております。またふらっと、学校にも 遊びにきて元気な顔を見せてくださいね。

教頭 井元 成浩

卒業生のみなさんこんにちは。普通科6期生の井元成浩です。 4月に教頭を拝命し、毎日懸命にその職務に取り組んでいます。 教員として母校に戻ってきて、生徒たちと向き合いながら充実した 日々を過ごさせてもらいました。授業や行事、クラブ活動など楽し い思い出でいっぱいです。特に、テニス部の部員たちと目標を 共有しながら毎日の練習に取り組んだことは教員生活の中で、 とても印象深く記憶に残っています。目標には一歩及びませんでし たが、在校生が目標を引き継いで、いつかは果たしてくれるものと 期待しています。

また、この数年は生徒募集の担当として多くの学校説明会や 進学相談会に参加してきました。それらの会で卒業生の方から 相談をいただくことが年々多くなってきています。数多くある私立 学校の中から、お子様の将来のために母校を選んでいただけるの は、恩師の先生方のお陰です。相談をいただいた卒業生のお子さん が入学後, 校内ですれ違ったときに私の顔を見てにこやかに挨拶 してくれると本当に嬉しくなります。

今の泉ヶ丘校には、以前は無かったオーストラリア語学研修や 職業体験といった新たな行事も加わっています。新しくできた 管弦楽部には140名を超える部員が在籍し、日々練習に取り組ん で、泉ヶ丘祭など様々な場面で素晴らしい演奏を披露してくれて います。生徒たちは勉強と行事やクラブ活動を両立させながら 学校生活を送っています。学校が益々活気づいているように感じ ています。

私が在学していた頃、先生方には授業や補習、個別の質問受け など、本当に熱心に指導していただきました。それは今も全く 変わっていません。温かいアットホームな雰囲気も昔と同じです。 これこそ, 先生方と卒業生の皆さんが作ってきた伝統です。変わら ない伝統を今後も絶やさず、新しい時代に適応した泉ヶ丘校として 発展させていければと思っています。卒業生の皆さん, ぜひ泉ヶ丘 校の様子を見に来てください。お待ちしています。



帝塚山学院 創立100周年記念事業のお知らせ



2016年 帝塚山学院は創立100周年を迎えます。

記念式典および記念祝賀会

2016年5月8日(日)

100周年記念事業募金に2口以上(1口3万円)ご寄付いただいた方を 記念式典および記念祝賀会にご招待いたします。

記念式典 場所/大阪中之島・大阪国際会議場メインホール 時間/13時~15時30分(受付/12時より)

記念祝賀会

場所/大阪中之島・リーガロイヤルホテル大阪「光琳の間」 時間/16時~18時(受付/15時より)

引出物

「帝塚山学院100年史」、「100周年記念誌 - 写真で見る学院100年の歩み」、「DVD - 学院の歴史と現在」、 「学院オリジナル切手シート」、「引き菓子」※「帝塚山学院100年史」は後日、ご自宅に郵送いたします。

100周年記念音楽祭

◆第1日 (出演:在校生中心)

場 所/フェスティバルホール 開催日/2016年12月中旬予定

幼小中高の全生徒・全教員が参加する学校行事として開催いたします。 (保護者は希望観覧)

◆第2日 (出演:卒業生·大学生他) 場所/いずみホール

開催日/2016年12月中旬予定 ソロの出演者若干名、100周年記念音楽祭合唱団

メンバー募集!! 募集内容&その他詳細は11ページへ

100周年記念芸術展

場 所/堂島リバーフォーラム 開催日/2016年11月3日(木)~6日(日)の4日間 絵画、書道、写真、映像、彫刻等多彩な作品を展示予定。

場 所/帝塚山学院大学狭山キャンパス 開催日/2016年5月14日(土) 千宗守武者小路千家家元による記念講演会。記念茶会。

帝塚山派文学学会の発足

場 所/住吉校および本部 開催日/2015年11月1日(日) 帝塚山の地と学院が生み出した作家たちを 研究するための学会を設立し、記念講演会を開催。

物故者追悼式

100周年記念の物故者追悼式を予定。

順次、帝塚山学院のHP等で紹介いたします。http://www.tezukayama.ac.jp/

寄付の申込みにつきましては、下記の100周年記念事業課にメール又は電話にてお問い合わせください。 募金趣意書(申込書)をお届けいたします。また、申込書は各校事務局でもお受け取りいただけます。



学校法人帝塚山学院 創立100周年記念事業局 〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51 Tel: 06-6672-1954 Fax: 06-6678-8797 E-mail: 100nen@tezukayama.ac.ip

Seiun Vol.22 | 16

アドミッションセンターょり

平成27(2015)年度 泉ヶ丘校の入試結果

中学校は164名、高校は69名の新入生を迎えることができました。中学・高校の受験者・合格者・入学者の数、合格者平均点などの詳細はホームページに掲載しています。 また、次年度の入試に関する情報についても随時掲載していきます。

平成28(2016)年度 入試のお知らせ

【入試関連行事の日程】※下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

	入試説明会	10月3日(土) 14:00~	児童・保護者対象の説明会です(予約不要)。
中学入試関連	プレテスト	11月 3 日(火·祝) 8:20~	小学6年生対象で、事前の予約が必要です。 同時に、保護者対象の入試説明会も開きます。
	プレテスト 個別懇談会	11月15日(日) 13:30~	プレテストの参加者を対象に行います。 予約は、プレテストの後に受け付けます。
	高校体験入学	10月17日(土)・31日(土) 13:30~	中学3年生対象で、事前の予約が必要です。
高校入試関連	学校説明会	10月17日(土)・31日(土) 15:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	入試説明会	12月 5 日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。

【中学校入試について】 平成28(2016)年度より新たに

■ 募集人数・日桂								
試験日	1次A入試	1次B入試	2次入試					
山州大口	1月16日(土)	1月16日(土)午後	1月17日(日)午後					
募集人員 (男女)	特別選抜·医進·特進 約140名		特別選抜·医進·特進 約20名					
	特別選抜(約20名)·医准(約40名)·特准(約100名)							

※合格コースについては、入試結果の得点順に「特別選抜」、「医進」、「特進」の合格者を

●特待生・特奨生制度 特待生/入学金の全額と授業料の全額を免除します。 特型生/入学金の全額と授業料の半額相当額を給付します。

【高校入試について】

■ 草隹 人 粉。口 臼

一 分未八处 口住								
	1次入試	帰国生入試						
試験日	2月10日(水) 学科 2月11日(木・祝)面接(生徒のみ)	1月25日(月)学科·面接 (保護者同伴)						
募集人員 (男女)	普通科(理数) 約40名 国際科 約40名 計 約80名	普通科(理数) 国際科 ※(計約5名)						

※帰国生入試の約5名は募集人数の約80名に含まれています。

●特待生・特奨生制度 いずれも学業優秀で、中学校長の推薦を受けた受験生が対象

第4回 キャリア教育(職業体験)を実施します

中学3年生を対象に関心のある職業を調査し、それをもとに職業体験が可能な大学や研究所、企業などを訪問します。 前回は、16ヶ所の訪問先から2ヶ所を選び、1日ずつ体験しました。3学期には、体験した内容を保護者や中学生全体にむけて発表する報告会を開催しました。 同窓生の方で、職業体験の訪問先としてご協力いただける方は下記までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- ●日程:2015年11月5日(木)・6日(金)
 - ●見学場所:約18ヶ所
- ●お問い合わせ先:アドミッションセンター TEL.072-293-1416









東京研修

裁判所での職業体験 スマートフォンサイトを

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター TEL.**072-293-1416** FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp



同窓生の皆様

四月に長男が泉ヶ丘中学校に入学させていただきました。同窓生として、そして保護者 としても母校との関わりをもたせていただけることを、心から嬉しく思っています。

さて、帝塚山学院は来年、いよいよ創立 100 周年を迎えます。 記念式典や祝賀会のほか、 様々な記念行事が予定されています。その一環として、泉ヶ丘校のグラウンドの全面人工芝 化も、すでに工事は佳境に入ってきております。この Seiun が皆さんのお手元に届く頃には 真新しいグラウンドに生まれ変わっているかもしれません。是非、この機会に母校を訪れて みてはいかがでしょうか。

今後とも、同窓会へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 細川 博(普通科 3 期生)



TOPページ右下の「同窓生の活躍」というバナーをクリック。 そこに一覧が掲載されています。



掲載期間は10月から翌年9月までです。お申込及び更新期間は毎年7月頃を 予定しております。掲載の方には、同窓会協力金(2口以上、1口2,000円)への ご協力をお願いしております。掲載に際しては、簡単な審査がございます。ご 掲載のご希望に添えない場合もございますので、ご了解ください。掲載内容 により、文字数の関係上調整を行う場合がございます。ご了解ください。

一番下の掲載方法とお申し込みをクリックして、

http://www.tezuka-izumi.jp/

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2-1 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局 TEL&FAX.072-293-8680

E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

平成26年度 会計報告

5.700.000 : 雑収入

1 008 000 号取利息

心五五只九八	1,090	,000	X4X117/0	3,717
寄付金収入		0		
学院創立100周年寄	寸金	0	合計	6,803,774
支出の部(26年度	決算)			
連絡協議会分担金	209,000	泉	ケ丘祭関連費	9,014
贈答費	483,584	泉	ヶ丘同窓会in東京関連	車費 0
通信費	142,561	備	品消耗品費	58,309
東京同窓会関連費	42,660	会	費返金(転学·退学· <i>7</i>	(学辞退者) 520,000
会誌費	1,148,360	学	校協力準備金引当繰	入費 0
活動費	132,582	雑	費	17,172
人件費	2,175,860			

50,544



突然ですが、私は「縁」というものを 大切にしています。泉ヶ丘校にお世 話になったのも、今こうして同窓会の 運営に携わっているのも何かのご縁 ですし、その中で関わり合えた先生 方や先輩・後輩の方たちとの交流も これまた素晴らしいご縁であり、私の 大切な宝です。そんな中で今回の取 材では、青雲をご覧になったことが きっかけで同級生と二十数年ぶりに 交流を持ったというお話が聞けたり、 インタビューにおいてはそれこそ「ご

縁」そのものを取り持つ仲人というお仕事についてお話を聞けたり と、いつもにも増して「縁」という名の人と人とのつながりを感じる ことができました。この冊子が、皆さんの素敵なご縁の一助とな れることを願いながら…。



収入の部(26年度決算)

総会会費収λ

表紙の紹介

同窓牛でここにお世話にならなかった人はいないんじゃないでしょうか? 当時から変わらない様子で営業している食堂です。メニューは当時と比べてだいぶ 種類も増えました。筆者自身も、学校を訪ねる際に今でも度々お世話になっています。 ある日の営業前、仕込みで忙しい時間帯に無理言ってスタッフの方に登場していた だきました。同窓会同様、そこに行けば一瞬であの日に戻れる、同窓生にとってはタイム マシンのような食堂にもぜひお立ち寄り下さいね!

60

5 714

7.254.064



Seiun Vol.22 | 18 Seiun Vol.22 | 19

